

シンクロ チームも銀



チーム・フリールーティン決勝 水面からダイナミックに飛び出す日本チーム＝水泳センターシンクロプール(共同)

「8人のサムライ」に歓声

【アテネ二十七日共同】アテネ五輪第15日の二十七日、シンクロロナイズドスイミングのチームで日本が銀メダルを獲得した。シンクロで五輪初の金メダルは逃したが、デュエット2位の立花美哉、武田美保組(ともに井村シンクロク)に続く2個目の銀メダル。既に史上最多となっている今大会の日本の総メダル数は35個になった。

日本は前半テクニカルルーティンで、ロシアに0.500点の大差をつけられた。後半フリールーティンで必死に追い上げを図ったが及ばず、98.501点で前回シドニー大会に続いて2位となった。ロシアは99.501点。2大会連続でデュエットとの2種目を制覇した。

阿波おどりの次は「8人のサムライ」。晴れわたった青空の下、勇ましい音楽に乗って日本の選手たちが躍動した。二十七日のシンクロロナイズドスイミングチーム決勝。

武士道がテーマの力強く華やかな演技に、スタンドから歓声が上がった。

日本の8人は、オレンジや金色の入った鮮やかな水着で登場。刀を切り結ぶような金属音が混じる音楽に乗り、迫力いっぱい演技を見せ、高得点に笑顔だった。

スタンドには、日の丸が入ったうちわを持った応援団が陣取った。浴衣姿も目立つ。

藤丸真世選手(25)の父卓男さん(55)は「新選組」の法被姿。「日本をうまくアピールしたと思う」と満足顔。演技前には「ロシアを逆転するのは難しいかもしれないが、点数を考えずに日ごろの力を精いっぱい発揮してほしい」と期待を込めていた。

日本はチーム種目が始まった1996年アトランタ五輪から3大会連続のメダル。